



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月3日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8214 URL http://www.aoki-hd.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 彰宏
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 (氏名) 田村 春生 (TEL) 045-941-1388
 四半期報告書提出予定日 2018年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	44,834	△3.1	640	△30.0	165	△80.8	△296	—
2018年3月期第1四半期	46,254	△0.1	914	△44.6	862	△47.1	325	△62.6

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △289百万円(—%) 2018年3月期第1四半期 418百万円(△29.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	△3.43	—
2018年3月期第1四半期	3.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	234,407	144,190	61.5
2018年3月期	239,068	146,528	61.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 144,109百万円 2018年3月期 146,440百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	29.00	—	31.00	60.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期(予想)第2四半期末配当金の内訳 普通配当22円00銭 記念配当7円00銭

2019年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当23円00銭 記念配当8円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	199,100	0.3	15,000	0.9	13,750	△1.8	7,400	0.3	85.56

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期1Q	90,649,504株	2018年3月期	90,649,504株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	4,169,006株	2018年3月期	4,085,322株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期1Q	86,501,449株	2018年3月期1Q	87,121,313株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料 3 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が継続いたしました。また、個人消費は底堅く推移しているものの、生活必需品の値上げなどから節約志向も根強く力強さに欠ける状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは各事業において下記のような諸施策を実施した結果、売上高は448億34百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は6億40百万円（前年同期比30.0%減）、経常利益は1億65百万円（前年同期比80.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億96百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益3億25百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(ファッション事業)

AOKIでは、春夏シーズンの衣替えとクールビズ需要に対応し、洗える機能に動きやすさを加えたスーツ、ジャケット、シャツ、パンツの商品群を「楽動シリーズ」として展開するとともに、レディースでは洗える・防シワ・ストレッチの機能性に、コーディネートを楽しむ豊富なバリエーションを加えた「はたラク服」の春夏アイテムを発売いたしました。また、お客様のご要望に合わせて「スーツ（ジャケット&パンツ）・シャツ・ネクタイ」のビジネスウェアをフルセットでお届けし、一定期間定額でご利用いただける国内初のサブスクリプション「suitsbox（スーツボックス）」のサービスを開始いたしました。店舗面では、1店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は573店舗（前期末574店舗）となりました。

ORIHICA（オリヒカ）は、クールビズに向けてアイロンがけが不要なシャツ・パンツを「ノンアイロンシリーズ」として拡充いたしました。店舗面では、2店舗を新規出店し2店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は137店舗（前期末137店舗）となりました。

これらの結果、レディースは堅調に推移したものの、ビジネススタイルの変化や天候要因等により既存店が低調に推移し、売上高は258億52百万円（前年同期比4.8%減）、営業損失は2億15百万円（前年同期は営業利益1億57百万円）となりました。

(アニヴェルセル・ブライダル事業)

ゲストハウスウェディングスタイルの挙式披露宴施設を展開しているアニヴェルセル株式会社は、各施設のコンセプトやブランドイメージを強みとした販促・PRを実施するとともに、SNSを活用し集客力の強化を図りました。しかしながら市場環境等の影響により施行組数が減少いたしました。

これらの結果、売上高は65億53百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は4億17百万円（前年同期比34.9%減）となりました。

(カラオケルーム運営事業)

株式会社ヴァリックのカラオケルーム運営事業は、新グランドメニューや夏限定メニューの提案を強化するとともに、シニアを対象としたプラチナクラブ会員の獲得を強化するなど、既存店の活性化に注力いたしました。店舗面では、複合カフェへの業態転換を含め7店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は、165店舗（前期末172店舗）となりました。

これらの結果、売上高は39億73百万円（前年同期比5.5%減）、営業損失は2億2百万円（前年同期は営業損失1億92百万円）となりました。

(複合カフェ運営事業)

株式会社ヴァリックの複合カフェ運営事業は、新グランドメニューや冷やし麺フェアの提案を強化するとともに、7月にかけて高性能パソコンを導入いたしました。店舗面では、1店舗を新規出店し1店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は359店舗（前期末359店舗）となりました。

これらの結果、既存店が堅調に推移し、売上高は84億66百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は3億87百万円（前年同期比332.3%増）と増収増益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態に関する説明については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、季節的要因等により前連結会計年度末と比べ46億60百万円減少し、2,344億7百万円となりました。

流動資産は、売掛金が季節的要因等により54億14百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ49億14百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産が償却等により2億49百万円、差入保証金及び敷金が返還等により2億20百万円減少した一方、投資その他の資産の繰延税金資産等のその他が7億64百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ2億53百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は、短期借入金を25億円実施した一方、買掛金が季節的要因により27億8百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ8億28百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が1年内への振替えにより10億円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ14億93百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失及び剰余金の配当の結果22億円減少し、自己株式が取得により1億37百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ23億38百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績について、売上高はファッション事業の既存店が低調に推移したことでやや弱めに推移しましたが、営業利益は各事業において経費削減に努めた結果、概ね想定範囲内で推移しております。また、カラオケルーム運営事業及び複合カフェ運営事業において、営業効率改善のための業態転換や店舗の閉鎖の決定等により、営業外費用及び減損損失発生に伴う特別損失が増加しましたが、2018年5月10日に公表した通期業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,175	30,687
売掛金	11,659	6,244
たな卸資産	26,007	26,172
その他	8,431	10,256
貸倒引当金	△35	△37
流動資産合計	78,238	73,323
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	60,585	59,313
土地	36,952	36,952
その他（純額）	14,131	15,153
有形固定資産合計	111,669	111,420
無形固定資産		
投資その他の資産	5,796	5,756
差入保証金	7,973	7,889
敷金	20,610	20,473
その他	14,830	15,594
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	43,364	43,907
固定資産合計	160,829	161,083
資産合計	239,068	234,407
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,812	17,104
短期借入金	—	2,500
1年内返済予定の長期借入金	2,650	3,650
未払法人税等	2,593	216
賞与引当金	1,978	941
役員賞与引当金	123	27
その他	13,592	15,481
流動負債合計	40,750	39,921
固定負債		
長期借入金	36,475	35,475
役員退職慰労引当金	2,018	—
ポイント引当金	1,059	955
退職給付に係る負債	1,054	1,075
資産除去債務	6,032	5,949
その他	5,149	6,840
固定負債合計	51,789	50,296
負債合計	92,539	90,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	27,833	27,833
利益剰余金	100,299	98,098
自己株式	△5,376	△5,513
株主資本合計	146,039	143,701
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	578
退職給付に係る調整累計額	△187	△170
その他の包括利益累計額合計	401	408
新株予約権	87	80
純資産合計	146,528	144,190
負債純資産合計	239,068	234,407

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	46,254	44,834
売上原価	26,937	26,473
売上総利益	19,316	18,360
販売費及び一般管理費	18,402	17,720
営業利益	914	640
営業外収益		
受取利息	27	28
受取配当金	25	26
不動産賃貸料	141	137
その他	44	39
営業外収益合計	239	231
営業外費用		
支払利息	86	78
不動産賃貸費用	114	114
固定資産除却損	16	289
その他	73	223
営業外費用合計	291	706
経常利益	862	165
特別利益		
新株予約権戻入益	—	7
特別利益合計	—	7
特別損失		
減損損失	197	643
特別損失合計	197	643
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	664	△470
法人税、住民税及び事業税	298	190
法人税等調整額	40	△364
法人税等合計	338	△173
四半期純利益又は四半期純損失(△)	325	△296
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	325	△296

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	325	△296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66	△9
退職給付に係る調整額	26	16
その他の包括利益合計	92	7
四半期包括利益	418	△289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	418	△289
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

自己株式の取得

当社は、2018年1月31日開催の取締役会決議に基づき、自己株式83千株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が137百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が5,513百万円となっております。

(会計方針の変更)

「従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い」(実務対応報告第36号平成30年1月12日。以下「実務対応報告第36号」という。)等を2018年4月1日以後適用し、従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引については、「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準第8号平成17年12月27日)等に準拠した会計処理を行うことといたしました。

ただし、実務対応報告第36号の適用については、実務対応報告第36号第10項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、実務対応報告第36号の適用日より前に従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与した取引については、従来採用していた会計処理を継続しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社及び連結子会社は、2018年6月開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給について承認されました。

これに伴い、当第1四半期連結会計期間末において役員退職慰労引当金を全額取り崩し、打ち切り支給の未払額1,700百万円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファッショ ン事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	27,168	6,899	4,202	7,983	46,254	—	46,254
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	2	0	—	4	△4	—
計	27,169	6,902	4,203	7,983	46,259	△4	46,254
セグメント利益 又は損失 (△)	157	640	△192	89	695	218	914

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額218百万円には、セグメント間取引消去1,063百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△844百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「アニヴェルセル・ブライダル事業」、「カラオケルーム運営事業」及び「複合カフェ運営事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖や建替えが決定したこと等により回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においてはそれぞれ87百万円、4百万円、99百万円及び6百万円です。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファッショ ン事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	25,851	6,542	3,973	8,466	44,834	—	44,834
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	10	0	—	11	△11	—
計	25,852	6,553	3,973	8,466	44,846	△11	44,834
セグメント利益 又は損失 (△)	△215	417	△202	387	387	252	640

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額252百万円には、セグメント間取引消去1,103百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△850百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「カラオケルーム運営事業」及び「複合カフェ運営事業」の各セグメントにおいて、店舗の移転を含めた閉鎖や業態転換が決定したこと等により回収が見込めなくなった営業店舗及び損益が継続してマイナスとなる転貸店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においてはそれぞれ81百万円、297百万円及び264百万円です。